

## 3年保育3歳児 さくら組指導案

平成25年10月8日（火）

3歳児さくら組 計21名

担任 谷澤 千尋

保育補助 夏目 篤子

### 1 学級の実態（9月中旬）

（体を動かすことへの取組：◎ 遊び：○ 人との関わり：● 生活：☆ 学級で取り組む活動：□）

◎むっくりくまさんをして遊ぶことを楽しんでいる。イメージもって動くことや、教師に追いかけられたり、追いかけてたりすることを楽しんでいる。

◎ボール、巧技台、固定遊具など、好きな遊具に関わりながら自分なりに体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。教師に認められることを喜び、繰り返し遊ぶ姿が見られる。

○アクセサリーやお面、武器などの身に付ける物を自分で作り、プリンセスやヒーローになりきって遊ぶことを楽しんでいる。また、気に入った友達と一緒に、ウレタン積木やごご、衝立などを使って場をつくり、そこに好きな物を持ち込んで、見立てたり、自分の思ったことを言って楽しんでいる。

○はさみを使っていろいろな形を自分で切ることが楽しく、形が描いてある画用紙を切って、ポテトやとんぼを作ることを繰り返し楽しんでいる。

●学級の友達に親しみをもち、友達が休んでいると「○○ちゃんはお休み？」と教師に聞きに来たり、友達のコップやタオルの出し忘れに気付いて教師や本人に知らせたりしている。

●同じ場にいたり、同じ物をもっている友達と一緒に動くことを楽しんでいる。その中で、自分の思いが通らないと怒ったり、教師に言いに来たりするが、教師が思いを受け止めたり、一緒に思いを伝えに行ったりすることで落ち着く姿が見られる。

●学級のみんなで集まる時に、好きな場所に座れないと「私の場所だった」「せまい」と、強い口調で相手に伝えている。しかし、言われた相手は、言われていることに気付かなかったり、強い口調で言われたことに怒ったりするため、その都度、相手に思いが分かるよう教師が代弁したり、気持ちを受け止めたりしている。

☆園生活の流れを思い出して、自分の身の回りのことを自分でしようとする幼児が多い。気持ちの乗らない幼児もいるが、教師がそばで声をかけたり手を添えたりすることで自分なりにやろうとする。

□学級で行うリズムや歌などでは、喜んで参加する幼児が多いが、みんなと踊ることに抵抗があつて動き出せない幼児もいる。

□全員が集まるまでに早く集まれる幼児と、周りのことを気にせずマイペースが強いために時間がかかる幼児との差が大きい。

### 2 学年の重点（\_\_\_\_\_は体を動かすことへの取組に関する内容）

○自分でできることは、自分でしようとする。

○教師や友達と遊ぶことの楽しさを味わう。

○園生活で安心して自分の思いを出せる。

### 3 学級の重点

- 健康な生活に必要な習慣がわかり、自分で行う。
- 教師や友達と体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 表情や動きで自分の思いを表現する。

### 4 期のねらい（Ⅲ期 9月上旬～10月中旬）

- 幼稚園での過ごし方を思い出しながら、自分でできることは自分でしていこうとする。
- 面白そうな物や友達の動きに関わり、遊びの楽しさを感じるようになる。
- みんなと同じ場であることを楽しむ。

### 5 本時のねらい

- 忍者のイメージをもって動くことを楽しむ。
- 自分なりにボールに触れながら、感触を味わい、遊ぶ楽しさを感じる。

### 6 展開 さくら組保育室→体育館（13:05～13:25）→保育室

ねらい達成のための教師の援助

時間	幼児の活動	指導内容	教師の援助
13:00	○忍者の衣装を着る	・忍者の衣装を身に付けてイメージをもち、これからすることに期待をもつ。	・忍者の修行をすることを知らせ、幼児が忍者の衣装を身に付けることで、イメージできるようにする。 ・環境として、教師も忍者の衣装を着ることで、幼児がよりイメージをもてるようにする。
	○体育館に行く	・忍者になりきることで、静かに階段を上る。	・幼児が忍者のイメージを楽しみながら、自然と階段を静かに上るという約束を守ることができるように、「敵の忍者に気付かれないように」と忍び足の術を促す。
13:05	○リズム「変身になんじゃじゃん」をする	・忍者のイメージをもって、体を動かす。	・教師も一緒に忍者のイメージで体を動かし、見本となるようにする。 ・イメージできるような言葉かけをする。
13:10	○忍者の修行その1 〈忍者玉と一緒に動く〉	・イメージをもって、忍者玉(ボール)を操作する。 (持ち歩く、転がす、投げる、蹴る、追いかける等)	・動きを見せながら説明することで幼児がわかるようにする。 ・使用するボールには幼児一人一人のマークを付け、自分のボールが分かるようにする。
	・忍者玉を持って走る ・忍者玉をおんぶして移動 ・投げた忍者玉を追いかける ・蹴った忍者玉を追いかける		・ボールの修行の3つのコーナーを紹介し、どこで何ができるか分かるようにする。また、イメージをもてるような言葉をかけ、やってみようとする気持ちをもてるようにする。
	○ボールの修行の話聞く		

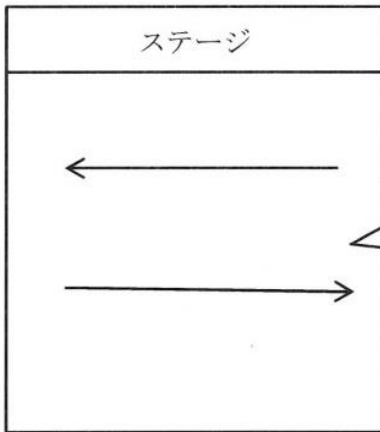
13:20	<p>○忍者の修行その2</p> <p>①水の中に隠れる敵の忍者をやっつける</p> <p>②大蛇をやっつける</p> <p>③お城まで届ける</p> <p>○片付けて集まる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たらいの的に向かって、忍者玉(ボール)を入れる。</li> <li>・的に向かって、忍者玉(ボール)を当てようとする。</li> <li>・斜面を転がし、並べたトンネルをくぐらせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージがもてるような的を用意する。間隔をあけて的を用意することで幼児の動きが出るようにする。</li> <li>・的に当たると音が鳴ることで繰り返し楽しめるようにする。的になるパネル内であればどこに当てても音が鳴るような的を用意する。</li> <li>・ボールが転がる楽しさが感じられるように、斜面とボールが通る軌道が見えるようなトンネルを用意し、転がすコースをつくる。</li> <li>・それぞれの取組方を受け止め、できた喜びや、自分なりにボールを操作する楽しさに共感する。</li> <li>・動き出せない幼児には、個別に声をかけて誘ったり、一緒に動いたりする。</li> </ul>
13:25	○保育室に戻る		<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まるまでに時間がかかる幼児には、そばで声をかけ、取りかかりを見守る。</li> </ul>
13:30	<p>○お茶を飲む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いうがいをする</li> <li>・お茶を飲む</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分で行う姿を具体的に認める。</li> <li>・気持ちが乗らない幼児には、そばで声をかけたり、一緒に行く。できた喜びを感じられるように声をかける。</li> </ul>
13:35	<p>○身支度をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレに行く</li> <li>・コップ、タオル、カラー帽子をしまう</li> <li>・園服を着る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・降園前はみんなと一緒に手遊びや絵本を楽しむ、明日の登園につながるようにする。</li> </ul>
13:45	<p>○集まる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び</li> <li>・絵本を見る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級のみならず手遊びをしたり、絵本を見たりする。</li> </ul>	
13:50	○降園準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかった気持ちをもって降園する。</li> </ul>	
14:00	○降園する		

## 7 評価

- 忍者のイメージをもって動くことを楽しんでいたか。
- 自分なりにボールに触れて遊ぶことを喜んでいたか。

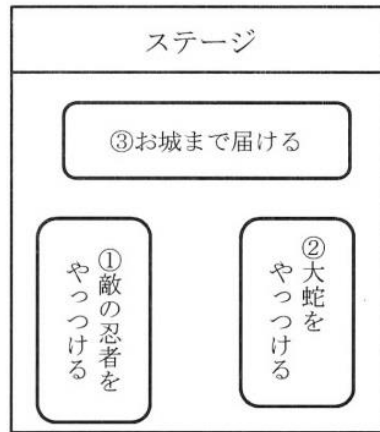
<環境図>

忍者の修行その1



体育館を  
横に移動する

忍者の修行その2



忍者の修行その2の環境詳細

